

教会の問題

新シリーズ
～福音となったイエス～

2026・3・1

「共有生活」をしていた初代教会

•増加する信徒の数

- 「そのころ、弟子の数が増えてきて」
- 教会誕生の日（五旬祭の日）に**3千人**が受洗（2:21）
- 「二人の語った言葉を聞いて信じた人は多く、**男の数が五千人ほど**になった」（4:4）

•エルサレム教会は共有生活をしていた

- 「信じた人々の群れは心も思いも一つにし、一人として持ち物を自分のものだと言う者はなく、**すべてを共有していた**。…信者の中には、一人も貧しい人がいなかった。」（4:32、34）
- 土地や家を売ってその代金を持ってくる者もいた

使徒言行録6章1～7節

そのころ、弟子の数が増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。そこで、十二人は弟子をすべて呼び集めて言った。「わたしたちが、神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは好ましくない。それで、兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。

わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することになります。」

一同はこの提案に賛成し、信仰と聖霊に満ちている人ステファノと、ほかにフィリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキア出身の改宗者ニコラオを選んで、使徒たちの前に立たせた。使徒たちは、祈って彼らの上に手を置いた。こうして、神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。

起こった問題

- 分配の仕方でもクレームが起こった
 - 「ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。」
- 二つのグループ
 - 「ギリシア語を話すユダヤ人」：外国育ちのユダヤ人（ディアスポラ）
 - 「ヘブライ語を話すユダヤ人」：イスラエル育ちのユダヤ人
- 集団が大きくなるとグループができる

軽んじられたやもめたち

- 教会の「分配」に頼っていた人たち
 - 働くことのできないやもめたちが教会の「分配」を頼って仲間に加わっていた
- 仲間のやもめたちのことを思って
 - 分配がなかったわけではなく「軽んじられている」と感じた
 - もともと「ギリシャ語を話すユダヤ人」たちは、主流派ではなかったので不満がたまっていた
- **グループができると対立が起こる！**
 - 信仰だけでは解決できない問題が発生する

軽んじられたやもめたち

- 教会の「分配」に頼っていた

- 働くことのできないやもめ
頼って仲間に加わっていた

単なる嫉妬
(やっかみ)では
なかったか？

- 仲間のやもめたちのことを思って

- 分配がなかったわけではなく「軽んじられている」と感じた
- もともと「ギリシャ語を話すユダヤ人」たちは、主流派ではなかったので不満がたまっていた

- **グループができると対立が起こる！**

- 信仰だけでは解決できない問題が発生する

使徒たちによる解決策

- 日々の分配に忙殺されていた使徒たち
 - 2万人もの人たちに均等に分配するのは不可能
- 使徒たちの提案
 - 「わたしたちが、神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは好ましくない。それで、兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することにします。」
 - 食事の世話(日々の分担)担当者を選ぶ

選ばれた7人

- 「“霊”と知恵に満ちた評判の良い人」
 - ただ知恵があるだけではなく評判がよく、聖霊に満ちた、つまり信仰的にも素晴らしい人
- なぜ7人なのか？
 - 12より少ない「完全数」
- 選ばれた7人
 - ステファノ・フィリポ・プロコロ・ニカノル・ティモン・パルメナ・改宗者ニコラオ（異邦人）
 - 全員がギリシャ名で呼ばれているので「ギリシャ語を話すユダヤ人」から選ばれたのでは？
 - **ギリシャ語グループの不満解消を狙った？**

再び成長をはじめた教会

- 「**按手**」して祈り、任命する
 - 「使徒たちの前に立たせた。使徒たちは、祈って彼らの上に手を置いた。」(聖別と任命)
- 本来の仕事に戻った使徒たち
 - 「祈りと御言葉の奉仕に専念する」
 - 食事の世話に価値がないわけではなく、使徒たちが本来やるべきことに集中できた
- 成長を続けた教会
 - 「こうして、**神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。**」

実はすごかった7人

- ステファノ

- 改宗者との議論で捕らえられ、最高法院で証しをするも、その後石で打たれて最初の殉教者となる

- フィリポ

- サマリアに伝道し多くの人を救いに導く
- その後聖霊に導かれてエチオピアの宦官に伝道

- プロコロ

- 後世の伝承では使徒ヨハネの筆記者？

- アンティオキア出身の改宗者ニコラオ

- アンティオキアで殉教した？

教会の問題と解決

- 教会は常に問題を抱える
 - 人の集まりである以上当然である
 - 成長していることの証拠でもある
- 神様からの「課題」と考える
 - 問題は神様から与えられる「教会の課題」である
 - 共に知恵を出し合い、祈りつつ解決策を模索しなければならない
- 解決することでさらに成長する
 - 教会にしかできない解決策がある
 - 教会内部の問題解決が外部への証しとなる